

令和2年度 秋季探訪会

当会の探訪会は、春と秋の年2回行っていますが、今年度は新型コロナウイルス対策として春のバスを利用した探訪会はやむを得ず中止しました。

秋の探訪会についても、中止を検討する声もありましたが、金沢市内を徒歩により、できるだけ密にならないように配慮しながら、去る11月7日（土）に25名が参加して行われました。



当日のコース

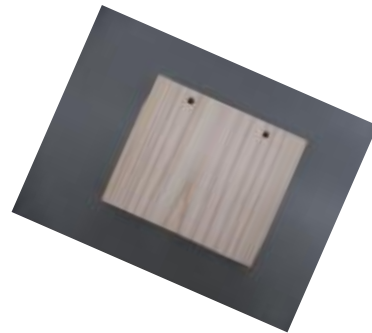
石川県巨樹の会 令和2年秋季探訪会

日 程: 令和2年11月7日(土)
訪 問 地: 金沢市内(兼六園、金沢城公園)

しいのき迎賓館 集合8:45(9:00 開始)
金沢市橋場町バス停 解散16:00(大樋美術館見学後)

| No. | 固有名称 | 指定 | 幹周(m) | 樹高(m) | 所在地 | 備 考 |
|-----|---------------------------------------|--------|--------------------------|----------------------|--|---|
| 1 | 堂形のしいのき | 国指定 | 左25.8 右17.5 | 左11 右11 | 金沢市広坂2丁目1-1 しいのき迎賓館前 ☎076-261-1111 | 推定樹齢約400年のシイノキは、旧石川県庁正面の左右に一对ある、門標木である。前田利常がこの地に書院を設けていたときの庭園樹であつたろうといわれています。 |
| ※ | 石浦神社 | | | | 金沢市本多町3丁目1番30号 ☎076-231-3314 | 御祭神は大国主大神(縁結び・家内安全)です。 広坂稲荷神社の赤い鳥居を潜って本多の森へ |
| 2 | 本多の森 ケヤキ | | 8 | 23 | 金沢市出羽町3-2国立工芸館前 ☎050-5541-8600 | 金沢市の代表的な自然植生の照葉樹林帯です。 県文化財修復工房、県美術館、国立工芸館、県歴史博物館周辺のケヤキ、スダジイの巨樹を観察 |
| 3 | 石川護國神社五葉松 | | 2.8 | 13 | 金沢市石引4丁目18番1号 ☎076-221-2110 | 推定樹齢600年 昭和10年に旧県庁から移植されたものです。50年前枯れる寸前に幹にできた20cmあまろのこぶを除去すると元気になった「甕りの五葉松」と命名。 |
| 4 | 兼六園 山崎山のケヤキ 五葉松 根上り松 唐崎の松 | 特別名勝 | 4.4 3.3 3.8 1.8 | 25 11 10 10 | 金沢市丸の内1番1号 ☎076-234-3800(管理事務所) | 宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉・眺望の特別名勝兼六園を小立野口から入り山崎山の櫛、五葉松、根上り松、唐崎の松を観ます。特に根上り松は十三代齋藤公が自ら植えた松で、別名「手植の松」とも称せられる。他にはコウヤマキ、イロハモミジ、カスミザクラ等もじっくり見学できます。 |
| 5 | 金沢城公園 | 昼食・トイレ | | | 金沢市丸の内1番1号 ☎076-234-3800(管理事務所) | 面積約3万平方メートル、市内中心部で自然林が最も多く残っている場所です。スダジイ、タブノキ、モミの巨樹が数多く残っています。今年は鼠多門、鼠多門橋が復元された門、橋を渡り尾山神社へ移動します。 |
| 6 | 尾山神社 (杉、樺、樅、スダジイ) | トイレ | | | 金沢市尾山町11-1 ☎076-231-7210 | ギアマンガラスの神門に代表される尾山神社は前田利家を祀る金沢市の代表的な社で、毎年開催される「百万石まつり」はこの神社の祭礼です。観光客がほとんどいない築山池泉廻遊式の神苑脇の石段を登ると遷拝所が穴場。 |
| 7 | 白鳥路 | | | | | 石川門下から大手堀に続く趣のある散歩道で途中には金沢ゆかりの三分豪(泉鏡花、徳田秋声、室生犀星)の銅像もあり、ユキバツバキの群生も見られます。 |
| 8 | 寺島蔵人邸 | トイレ | | | 金沢市大手町10-3 ☎076-224-2798 | 庭園には、トダンツツシ、モミジ、タブの古木が趣を醸し出しています。加賀藩中級武家屋敷の旧態を伝えています。 |
| 9 | 折鶴の松(大樋美術館) | 市指定 | 3.5 | 15 | 金沢市橋場町2-17 ☎076-221-2397 | 松はその形から「折鶴の松」と名付けられ樹冠に大雪をのせた時が特に美しいと言われている。推定樹齢500年とも言われる赤松の名松です。 |

当日のスケジュール



当日のリーフレットと参加記念のスギのネームプレート



高木会長の挨拶のあと、旧県庁前
堂形のシイノキからスタート



石浦神社横の101基の赤鳥居は
金沢の新しい名所



石浦神社横の赤鳥居を抜けると・・・
何が待っている？



北川副会長が密にならないように
注意を払って感染防止！



県文化財保存修復工房奥の斜面は
ほとんど手つかずの照葉樹林帯



ここは、スダジイの巨木が群生して
いる隠れた巨樹スポット



彩りの落葉が美しく映える [県美術館](#)
裏の「美術の小径」



10月25日に新設オープンしたばかりの [国立工芸館横](#) を行く



本多の森 [県歴史博物館](#) 周辺の [ケヤキ](#)
の巨樹やカラスの話を聞く



NTT 西日本出羽町ビル前の紅葉は
今日が見ごろを迎えていた



3番目の目的地護国神社の**五葉松**
ここまで1時間で歩き切った



いよいよ兼六園ここで濱野前会長と
合流して説明を聞く



こちらは紅葉のピーク前だったので
あまり密にならず、一安心



当日は、**全国巨樹・巨木林の会**の
取材があり、東京から古畑さん、
植村さん（左端）も参加



山崎山の頂上を目指して黙々と歩く
巨樹の会の旗が最後尾の目印



根上り松の前で、濱野前会長の解説
根の形状は土を盛って作られたもの



雪吊り直後の**唐崎の松**、放射模様が
美しい光景は自然に溶け込む



ご存知、徽軫灯籠(ことじとうろう)と虹橋は兼六園のシンボル



日本最古といわれる園内の噴水
霞が池との高低差を利用



倒れかかっている巨樹は伐採せず
ワイヤーで引っ張って保存する
金沢市民の心意気、濱野氏トリア



兼六園桂坂口にあるタブノキの巨樹
兼六園とはここでお別れ



金沢城公園内の菱櫓・五十間長屋・
橋爪門続櫓、このあと雨模様



金沢城公園内でも大変古くて貴重な
ソメイヨシノの巨樹



金沢城公園内でも最大級の
スタジイの巨樹



昼食会場
旧第六師団司令部の建物



午後は、玉泉院から新しくできた
鼠多門を目指す



鼠多門と鼠多門橋の全景
(快晴時に撮影)



鼠多門橋を渡り **尾山神社社叢**へ
雨に濡れる橋は風情を感じる



尾山神社は洋風の神門が有名
境内には巨樹や名木がある



境内にある **イスノキ**の巨樹
樹齢は200年以上といわれる



寺島蔵人邸の庭園は、藩政時代の名残を残すドウダンツツジの老木



折鶴の松は、大樋美術館庭内にある金沢3名松といわれる市の保存樹



金沢市職員で樹木医の上田さんからこの松の説明を聞く